

総合研究所環境調査結果等について(近隣にお住まいの方々への説明会配布資料)

今般、弊社総合研究所敷地の土壌・地下水中の重金属等の分析において、一部に環境基準を超えた数値が検出されましたので、8月16日、大宮市に第一報の報告を行いました。大宮市は、この報告を受けて実施した弊社総合研究所の構内確認調査結果と周辺地下水の調査結果を8月28日に発表しました。この発表によれば、周辺井戸水調査結果においては、カドミウムについては環境基準(0.01mg/l)を超える数値は検出されませんでした。セレンについては、研究所敷地外の北部1ヶ所から環境基準(0.01mg/l)を超える数値(0.014mg/l)が確認されたとのことであります。

弊社といたしましては、環境基準を超える数値が1ヶ所とはいえ、研究所敷地外から検出された事態を重く受け止め、周辺住民の皆様にご心配、ご迷惑をおかけしたことに對し、心からお詫び申し上げます。

また、弊社と致しましては本件問題の処理に最大限の努力をしていく所存でありますし、皆様のご心配に対しましては誠意を持って対応させて頂きたいと存じておりますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。本件調査についての現在までの状況並びに今後の浄化対策等については、下記のとおりであります。

記

(1) 現在までの状況について

弊社は2003年を目標に全事業場所において国際的な環境マネジメントシステムであるISO14001の取得をめざすGPM活動(環境と調和のとれた事業活動)を展開しています。この活動の一環として、本年1月より総合研究所においても土壌・地下水環境調査を実施してきました。

その結果を9月初旬に大宮市に報告する予定で、データを取りまとめていたましたが、土壌・地下水中の重金属等の分析において、一部に環境基準を超えた数値が検出されましたので、8月16日、大宮市に報告(第一報)を致しました。

環境基準を超えた数値が検出された場所は、総合研究所敷地の北東区域で添付の図面^㉑地点の地下水からカドミウムの最高値3.6mg/Lが検出されました(環境基準の360倍)。図面で実線で囲まれた部分は環境基準値(0.01mg/L)を超えた値が検出された場所です。セレンについても添付の図S地点の地下水から最高値2.1mg/Lが検出されました(環境基準の210倍)。また、クロム、鉛などその他の重金属も、分析結果では一部の地点から環境基準を超える数値が検出されています。

その後の大宮市の調査によればカドミウムの最高値は5.7mg/lで添付の図面^㉒に検出されました。^㉑地点ではカドミウム2.0mg/l検出されました。

この区域では昭和25年から62年までカドミウムを主原料とした顔料工場を操業しており、これが今回の環境基準を大幅に超える数値が検出された原因であると思われ詳細な調査を続けています。数値が検出された地下水は主として地表下5~6メートルの第一帯水層と呼ばれる地中で最上部の透水層で、現在透水性及び流向(流れの方向)を精査しているところです。

(2) 弊社実施の井戸水分析結果について

近隣住民の皆様から弊社総合研究所にご依頼のあった12件の井戸水の分析結果につきましては添付の資料のとおりであり、水道水基準値及び環境基準値を超える数値は検出されておられませんでした。8月28日にご本人及び自治会長様にはご報告致しております。

(3) 現状及び今後の対策について

弊社は自主調査結果に基づき、応急対策としての揚水井戸の最適な設置方を検討するために、直ちに揚水井戸を2本ボーリングして揚水試験を実施するとともに、地下水浄化の一端としてまず掘削9ヶ所の観測井戸に揚水ポンプを設置して揚水処理を開始して影響の拡大を防止する策を講じました。

更に、弊社は大宮市の調査結果をふまえて、地下水の浄化対策に早急にかつ全力を挙げて取り組む所存であります。添付の図面に示しますように、具体的には第一に環境基準を超えるセレンが検出された井戸周辺への影響を遮断するため、研究所敷地掘削に約175メートルにわたって遮水壁（鋼矢板）を設置し、第二にその外側に集中的に揚水パイプを打ち込み、周辺地域の地下水の浄化に努めてまいります。揚水パイプの本数は概ね20本程度を想定しておりますが、効果を確かめながら決めてまいります。さらに汚染源と思われる環境基準を超える数値が検出された総合研究所敷地内についても、揚水井戸を現状より増やして揚水処理を行い、浄化作業を強力に進めることとしております。

これらの対策に要する工事期間は約3ヶ月を見込んでおります。敷地境界において揚水パイプを設けて揚水処理を行うため、地盤沈下には十分注意してまいります。構所内外の揚水処理につきましては、ともにモニタリングを実施し、揚水処理の効果測定を実施するとともに当社の講じる対策につきましては、都度大宮市にご報告致します。

今回の弊社総合研究所構内での地下水汚染によって周辺の皆様にはご心配とご不安をお招きいたしました。弊社としましては上記応急対策を徹底して実施すると共に、土壌対策を含めた恒久対策を講じて、今後周辺に影響が波及しないよう最大限の努力をしていく所存です。これらの対策工事等につきまして皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



近隣の住民の皆様から、弊所あてご依頼のありました井戸水の分析結果をご報告致します。

記

《ご依頼件数》

- ご依頼件数は合計12件でした。
- 地域の内訳及び飲用に供しているかは以下の通りです。

北袋町1丁目	1件	飲用あり
北袋町2丁目	7件	5件は飲用ありで2件は飲用なし
天沼町2丁目	1件	飲用あり
吉敷町3丁目	2件	2件とも飲用あり
浦和市上木崎4丁目	1件	飲用あり

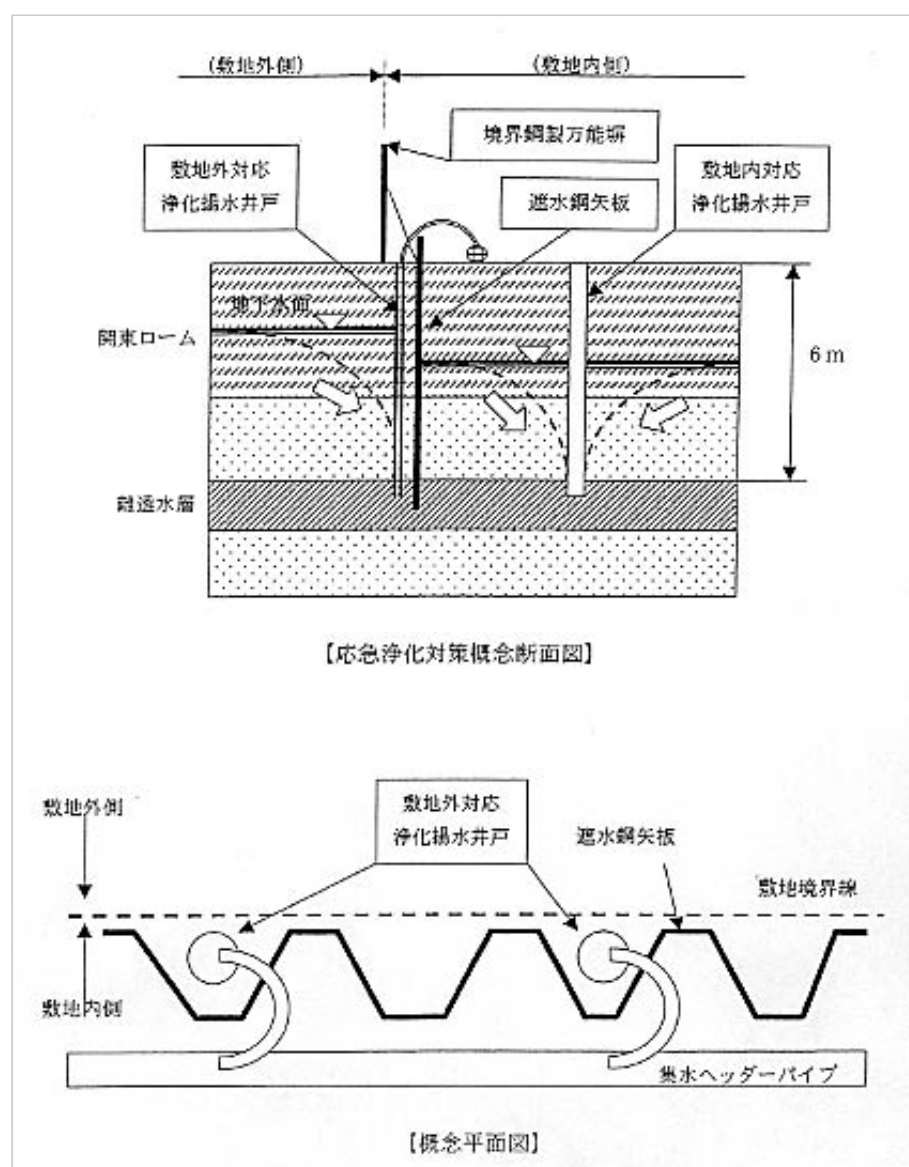
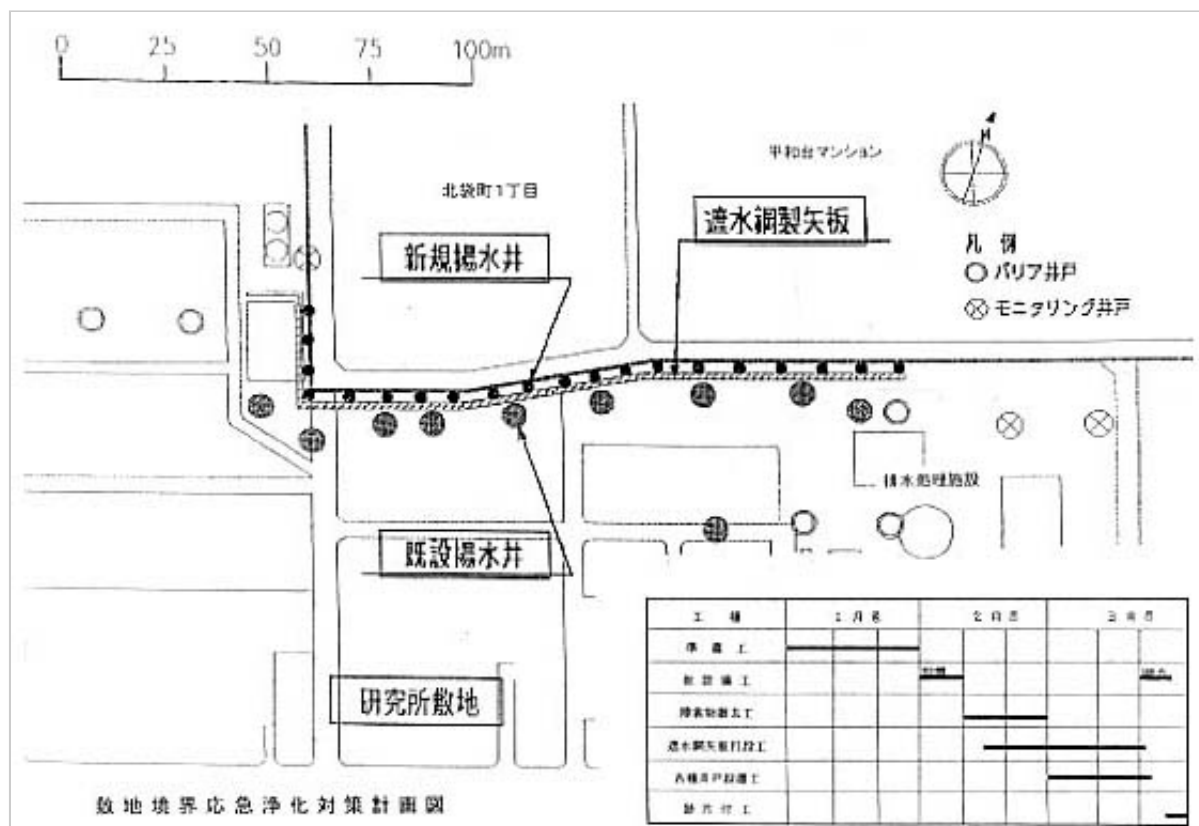
(計12件中、飲用ありが10件で飲用なしが2件)

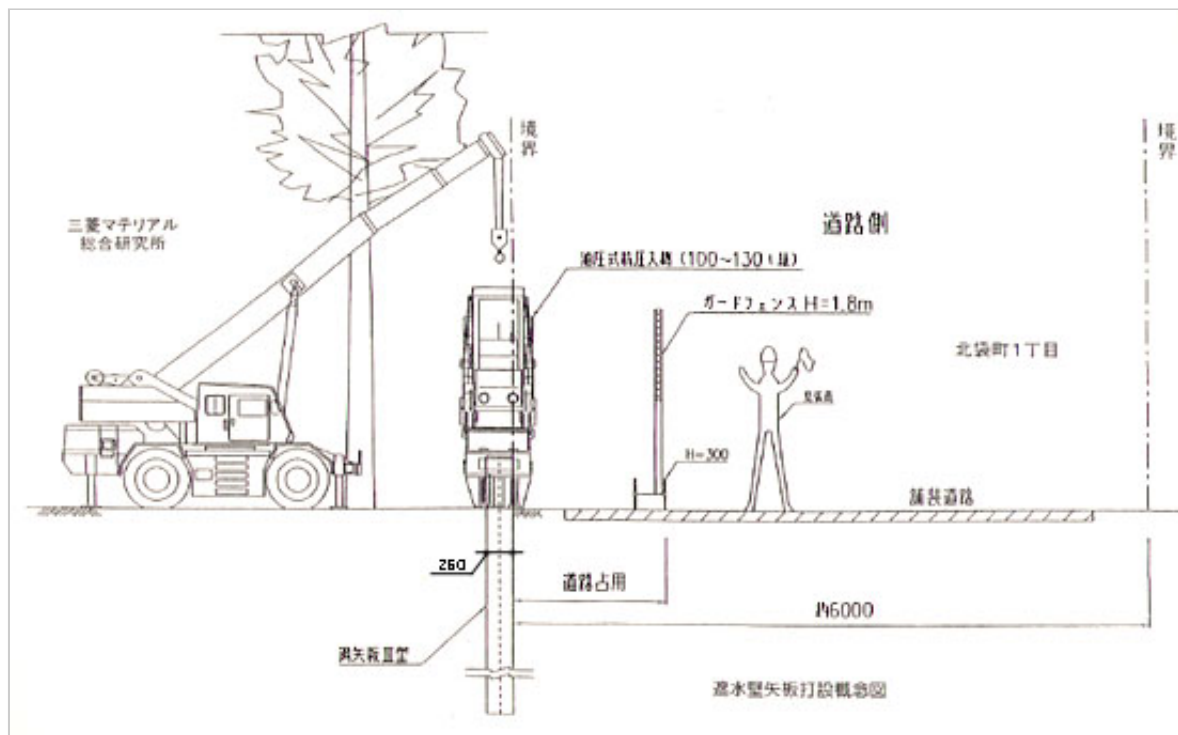
《分析結果》

- ご依頼件数は合計12件でした。
- 分析成分はカドミウム、セレン、及び鉛（一部地域）でした。
- 分析結果については12件とも水道水基準値及び環境基準値を超える数値は検出されませんでした。

《分析結果のご連絡》

- ご依頼のあった家に、本日28日中に直接文書でお伝え致します。
-





周辺環境対策工

工種	対策工					
	振動・騒音	粉塵	汚染土・汚濁水	地盤沈下・井戸水位低下	交通	安全
障がい物撤去工	<ul style="list-style-type: none"> 油圧破碎（低振動・騒音）工法の採用 低騒音型エンジンの選択 	適宜散水			誘導員の配置	<ul style="list-style-type: none"> 見張員の配置 安全柵の設置
鋼矢板打設工	<ul style="list-style-type: none"> 油圧圧入（低振動・騒音）工法の採用 低騒音型エンジンの選択 	適宜散水	排出土は拡散しないように仮置きし、環境上で問題のない所定の場所へ処分する	静的な油圧圧入であるため問題はないと思われるが、施工中は周辺状況を十分監視し、万一の沈下等に対応する	誘導員の配置	<ul style="list-style-type: none"> 見張員の配置 安全柵の設置
資機材搬出入	<ul style="list-style-type: none"> 交通法規の厳守 場内制限速度の厳守 	汚れたタイヤは清掃する			<ul style="list-style-type: none"> 運行ルートの指定 誘導員の配置 	
揚水井戸による揚水浄化工	必要に応じて、ポンプ等の駆動部や振動部を被覆するなどし騒音および振動の抑制に努める		揚水された汚染地下水は、既設水処理施設を経て、定められた基準値以下に処理した後、既存の施設と同様に既設排水路に放流する	<ul style="list-style-type: none"> 揚水影響径等を予測し、揚水影響範囲の地表面に定点を設け、沈下観測を行う。沈下の影響が予測される場合は、揚水井戸の運転停止や注水を行う 影響範囲の近隣については、必要に応じて 		<ul style="list-style-type: none"> 境界の井戸については第三者が触れら

				<p>家屋調査を行い、影響なきよう工事を実施する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観測井戸を設け、周辺井戸の水位低下を監視し、必要に応じ揚水量の調整を行う 		<p>れないようフェンス等で保護する。</p>
その他			<p>工事中に発生する汚濁水と考えられる排水については、集水し、上記と同様に処理する</p>			<ul style="list-style-type: none"> ・鋼製万能堀の設置 ・作業が市民生活と隣接する場合の見張員配置

以上